





[ORF 2005] W3C フォーラム イン ORF 2005

W3C 標準活用術



講演プログラム — 2005年11月22日(火) キャラント C-2

[<http://www.w3.org/2005/11/orf2005>]

時間	講演タイトル及び講演者
12:00 - 12:30	開場 / 受付
12:30 - 12:45	開催の挨拶 萩野 達也 (W3C アジア担当技術統括副責任者 / 慶應義塾大学 環境情報学部 教授)  <p>W3C は Web の発展を促進し、相互運用性を保証する共通のプロトコルを開発することにより、Web の可能性を最大限に導き出すべく設立された会員制の国際産業コンソーシアムです。本講演では、W3C の概要紹介に続き、W3C において国際標準化が進む Web 技術の中から、セマンティック Web、音声ブラウザ、国際化についてそれぞれ取り上げます。</p>
12:45 - 13:10	つながる世界へ — セマンティック Web レシピ集 福重 貴雄 (W3C 訪問研究員 / 松下電器産業)  <p>Web 上のデータ統合して利用することを目指して標準化が進むセマンティック Web ですが、なかなか実像が掴みにくいと感じている人も多いかもしれません。そこで、セマンティック Web とは何か、セマンティック Web を使うとどんなことができるようになるのか、そして今どんなデータやツールが利用できるのかといった疑問に、W3C における最新の取り組みや関連する話題も交えてお答えします。</p>
13:10 - 13:35	Web と話してみませんか？ — あなたも使える音声ブラウザ 芦村 和幸 (W3C Voice Browser ワーキンググループ担当 / 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 専任講師)  <p>日頃、パソコンや携帯電話を使って様々なWebサイトを閲覧する人でも、パソコンが利用できない出先や、キーボードを操作できない運転中など、欲しいときに必要な情報にたどり着けないことは良くあります。そのような場合に、携帯電話やカーナビを通じて「声」でWebにアクセスできたらどれほど便利でしょう？ W3C で標準化が進む、音声を使って Web にアクセスするための方法について紹介します。</p>
13:35 - 14:00	国境のない Web で IT ビジネスを勝ち抜くために — W3C 国際化活動 [日本語講演] 佐々木 フェリクス (W3C 国際化 (I18N) Core 及び ITS ワーキンググループ担当 / 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 専任講師)  <p>国境のない Web で IT ビジネスを勝ち抜くには「国際化」が鍵を握ります。言葉と国境を越えるデータ交換にはどのような技術が必要となるのか、Webの国際化に取り組む W3C の国際化活動を中心に、具体例を交えて紹介します。</p>

司会進行: 萩野 達也